

M.M. 2018年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

学生時代、私は眞鍋先生のもとで「キタキュープロモーション」という実習に2年間参加し、地域の魅力発信やまちづくりに深く関わる経験を積みました。さらに、3年生からはチャレンジプログラムの一環として「リアル就職プログラム」に参加。山口県内の企業で半年間、毎週金曜から日曜まで泊まり込みでインターンを行い、実際の社会の現場を肌で感じながら学ぶ貴重な時間となりました。

また、片岡ゼミではさまざまな活動に取り組み、4年生のときには後輩と共に福井で開催されたまちづくりコンテストに出場。リノベーションスクールにも参加し、地域の人々と関わりながらまちづくりを実践的に学びました。学校生活ではサークル活動には所属していなかったものの、活動を通じて地域との関わりが自然と広がり、自主的に活動する機会に恵まれていました。

特に若松のまちに惹かれ、現地の方々とのつながりの中で、空き家を活用したシェアハウスづくりやゲストハウスの管理、雑貨屋や飲食店の運営にも携わりました。リノベーションを通じて空き家が生まれ変わり、新たな人の流れやコミュニティが生まれていく過程を体感できたことは、今でも強く印象に残っています。当時は若松に実際に暮らし、同じ大学の仲間や九州国際大学の学生とシェアハウスで共同生活を送りながら、まちの中でリアルな経験を積み重ねていきました。

何か特別な部活動をしていただけではありませんが、こうした地域の中での実践と人とのつながりが、私の学生生活の大きな軸となり、人生の財産になったと感じています。振り返っても「あの頃の経験が今につながっている」と胸を張って言える、かけがえのない時間でした。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

地域創生学群を卒業後、2年間で2社の一般社団法人に在籍し、地域活性やまちづくり事業、若松でシェアハウス、ゲストハウス、飲食店の運営に携わる。その後、2020年にWeb制作会社「株式会社AKiBACO」を創業。2023年には株式会社koujitsuへ事業売却し、現在は同社の執行役員としてWeb制作・システム開発事業の責任者を務めている。制作や開発の現場を統括しつつ、戦略設計や組織づくりにも深く関わり、年間売上1.2億円規模の事業成長に貢献。またその他、並行してWebマーケティング会社の代表を務めるほか、日本全土をホームタウンにするためにコミュニティと事業戦略会社2社の取締役、さらに近年は、AI関連事業やペット事業の立ち上げにも力を入れており、社会課題の解決と新たな産業創出を両立させるビジネスモデルを構築中。

将来的には、ペット関連事業で日本インパクトを残せる事業の確立と、地方と都市と海外でリアルとデジタルを横断しながら、より人間が人間らしく生きれるための「朝、希望をもって目覚め、昼は懸命に働き、夜は感謝と共に眠る」このような世界観を作れるように尽力したい。

現役生へのメッセージ

今はまだ社会人のイメージが湧かないかもしれませんが、卒業後の世界は決して楽な道ではありません。起業して生きていくとなれば、なおさら険しい道です。それでも、社会には苦勞を何倍も上回る楽しさや充実感があります。そのために、今を全力で遊び、学び、人生を楽しんでください。大学生活で本気になった経験は、必ず将来の力になります。僕自身、大学を全力で楽しんだからこそ今があります。今を楽しめないと、先の人生も楽しめません。



チャレンジプログラムの成果報告会での写真。本当にやり切った悔いは全く終わって学生時代に経験したことで一番良かったと今でも思っています。



AKiBACO
grow with us

ひたすら自社を伸ばすことしか考えずに進んできた気がします。社会人になってからはほぼ仕事ばかりですが、毎日充実していて幸せです。